

# MITSUBISHI

三菱データプロジェクター

形名

# LVP-XD211/LVP-SD210

## 取扱説明書

**DATA**  
PROJECTOR



このたびは三菱データプロジェクターをお買い上げいただきありがとうございました。

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

はじめに

映像を見る

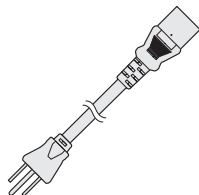
設定・調整する

その他

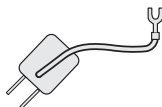
# 付属品を確認する・リモコンをはじめて使うときは

付属品を確認する (このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。)

## ■ 電源関係

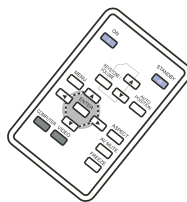


電源コード



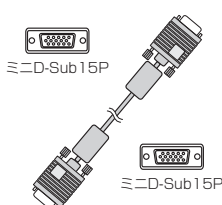
変換アダプタ

## ■ リモコン関係



リモコン2個 (CR2025ボタン電池入り)

## ■ 映像関係



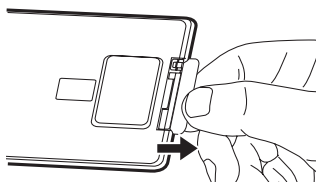
RGB信号ケーブル

## ■ その他

- ・レンズキャップ
- ・取扱説明書/クイックスタートアップ
- ・保証書
- ・三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
- ・ソフトキャリングケース
- ・リモコンロックボタンキャップ

- 本機にはリモコンが2つあります。1つは本機上面部に取り付けられており、もう1つは付属品として同梱されています。
- 付属の電源コード、変換アダプタは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

## リモコンをはじめて使うときは



1 本機上面部に取り付けられているリモコンを、リモコンロックボタンを押して取りはずす(9ページ参照)

2 透明絶縁テープを取りはずす(左図)

- 付属品のもう1つのリモコンも、同様に透明絶縁テープを取りはずしてください。

## ⚠ 注意

- このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
- 本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
- J5022 クラス B装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のRGB信号ケーブルをご使用ください。
- 本機は必ず接地してください。

# もくじ

|             |                         |       |
|-------------|-------------------------|-------|
| はじめに        | 安全のために必ずお守りください         | 4~7   |
|             | 各部のなまえ                  | 8,9   |
|             | 本体のなまえ                  | 8,9   |
|             | リモコンのなまえ                | 9     |
|             | リモコンの使いかた               | 10    |
| 映像を見る       | コンピュータの映像を見る            | 11~15 |
|             | A. コンピュータと接続する          | 11    |
|             | B. 電源コードを差込む            | 12    |
|             | C. 投写する                 | 12~15 |
|             | プレゼンテーションを演出する          | 16    |
|             | 映像と音声を一時的に消す(AVミュート)    | 16    |
| ビデオ機器の映像を見る | A. ビデオ機器と接続する           | 17~19 |
|             | B. 電源コードを差込む            | 18    |
|             | C. 投写する                 | 18,19 |
|             |                         |       |
| 設定・調整する     | メニューを使って設定する            | 20    |
|             | メニュー遷移図                 | 20    |
|             | メニュー設定のしかた              | 21    |
|             | メニューを消すときは              | 21    |
|             | メニューで設定できること            | 21~23 |
|             | 映像を調整する                 | 24    |
|             | 映像の明るさを調整する(明るさ、コントラスト) | 24    |
|             | 白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)    | 24    |
|             | 色を調整する(色の濃さ、色合い)        | 24    |
|             | 映像をくっきりさせたり、ソフトにする(画質)  | 24    |
|             | コンピュータ映像の調整             | 25    |
| その他         | 設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた    | 26    |
|             | 光源ランプを交換する              | 27    |
|             | リモコンの電池を交換する            | 28    |
|             | 故障かなと思ったら               | 29~31 |
|             | 索引                      | 32    |
|             | 端子について                  | 32    |
|             | 仕様                      | 33~34 |
|             | 別売品                     | 33    |
|             | 保証とアフターサービス             | 35    |
|             | インジケータの見かた              | 裏表紙   |

はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

もくじ  
リモコンをはじめ  
て使うときは  
付属品を確認する

## 著作権について

- DLP® (Digital Light Processing®)、DMD、BrilliantColor® は、米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- アスペクト比の切り換えについて
  - 本機はアスペクト比切り換え機能(19ページ)を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
  - 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

# 安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

|   |   |   |                                     |
|---|---|---|-------------------------------------|
|  <b>警告</b> | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの |  <b>注意</b> | 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの |
|---|---|---|-------------------------------------|

■ 図記号の意味は次のとおりです。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|  絶対に行わないでください      |  絶対に分解・修理はしないでください |  絶対に触れないでください    |  絶対に水にぬらさないでください        |
|  絶対にぬれた手で触れないでください |  絶対に水場では使用しないでください |  必ず指示に従い、行ってください |  必ず電源プラグをコンセントから抜いてください |

## 警告

故障したまま使用しない

### 万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。



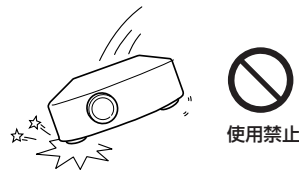
プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

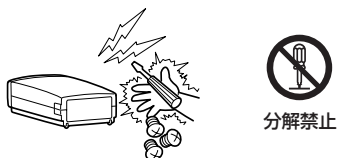
落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

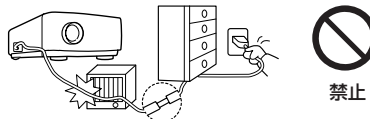
キャビネットをはずしたり、改造しない



内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

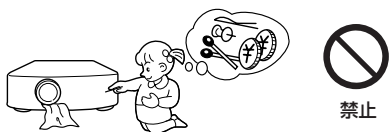
電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 無理に曲げない
- じゅうたんなどの下にひかない
- 引っ張らない
- 加熱しない
- ねじらない
- 加工しない



コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない



金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

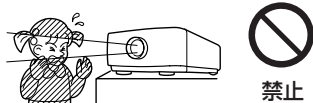


内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

# 警告

## 次のようなことはしない(つづき)

### レンズをのぞかない



光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

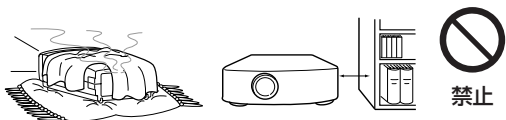
### 使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になりますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。



### 吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

### 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

感電の原因となります。



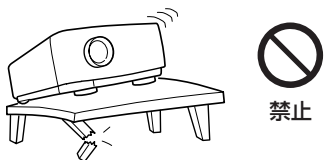
### 光源ランプを交換する場合、別売の専用光源ランプ以外は使用しない

他の光源ランプを使用すると故障の原因となります。



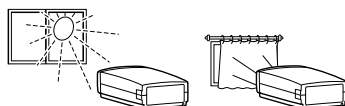
## 次のような場所に置かない

### 不安定な場所には置かない



(特に上下逆さまに置いた状態で)ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

### 直射日光の当たる場所に置かない レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



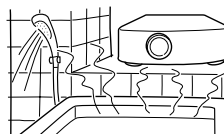
火災や故障の原因となります。

### ソファ、椅子などの上に置かない



吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

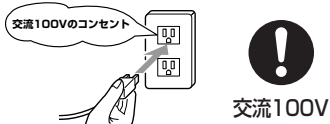
### 風呂場では使わない



火災や感電の原因となります。

## その他

### 正しい電源電圧で使う



交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

### 可燃性の溶剤(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを近くで使用しない



ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

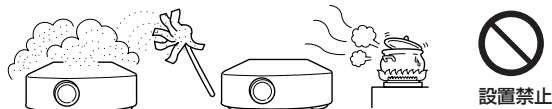
# 安全のために必ずお守りください(つづき)

## ⚠ 注意

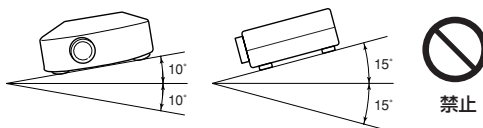
### 次のような場所には置かない

#### 設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になる場所
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具や加湿器の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所

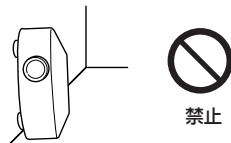


#### 傾けた状態で動作させない



傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

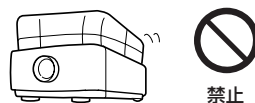
#### 立てた状態で置かない



禁止

倒れて、けがや故障の原因となります。

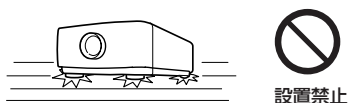
#### 重いものを置かない、踏み台にしない



禁止

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

#### ワックスのかかった床に直接置かない



設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

### 電源コード・プラグについて

#### 接続したまま移動させない



禁止

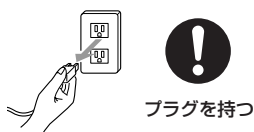
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

#### 電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

#### 電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

#### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



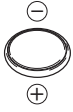
ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

# ⚠ 注意

## 電池の取り扱いについて

プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる。



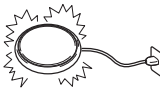
正しく入れる

分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。



禁止

電池を充電しない。



禁止

- 指定された品番と異なる電池を使用すると、発熱、破裂する恐れがあります。
- 使いきった電池は、すぐに取り出してください。
- 電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。

## その他

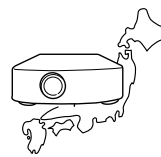
### 1年に一度は内部の掃除を依頼する



内部掃除

三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむり等により内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災や故障および、光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

### このデータプロジェクターは日本国内専用です

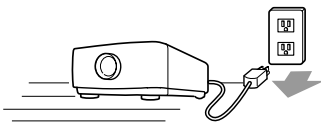


日本専用

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This Data projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

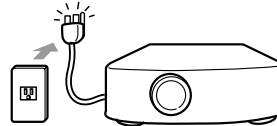
### ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ(待機状態)にします。約90秒間待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。スタンバイにして約1分間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

### お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



プラグを抜く

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

### 製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。



禁止

### 排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器へ損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。



接触禁止

### 海拔1500m以上での使用は避ける

海拔1500m以上での使用は、製品の寿命に影響する恐れがあります。



注意

### 結露した状態で使用しない

結露した状態で使用すると、故障やその他の不具合が発生する原因となることがあります。



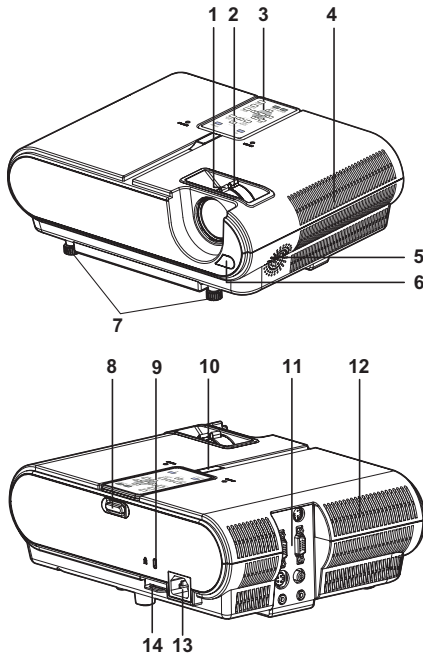
禁止

安全のために必ずお守りください

# 各部のなまえ

## 本体のなまえ

### 本体



- 1 フォーカスリング
  - 2 ズームリング
  - 3 リモコン
  - 4 吸気口
  - 5 スピーカー
  - 6 リモコン受光部(前面)
  - 7 角度調整脚
  - 8 リモコンロックボタン
  - 9 ケンジントンロック(盗難防止用ロック穴)
  - 10 リモコン受光部(上面)
  - 11 端子パネル
  - 12 排気口
  - 13 電源コード差込口
  - 14 結束用フック ※1
- ※1 チェーンなどで結束できます。

### ⚠ 注意

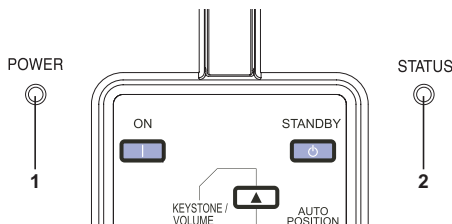
使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、ランプの交換作業はしないでください。さわるとやけどなどの原因となります。

### ケンジントンロック(盗難防止用ロック)について

盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下の通りです。

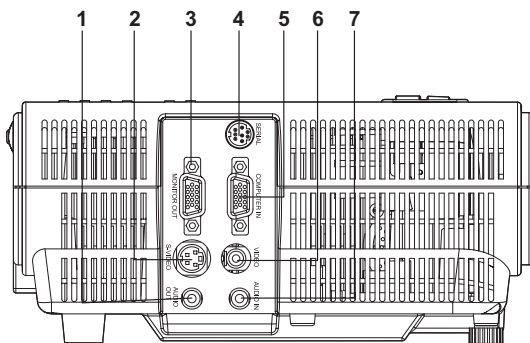
日本ボラデジタル株式会社  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル  
TEL:03-3537-1070  
FAX:03-3537-1071

### インジケータ



- 1 POWER(電源)インジケータ
- 2 STATUSインジケータ

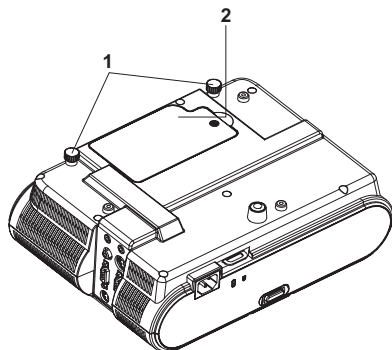
### 端子パネル部



- 1 AUDIO OUT端子(Mini jack)(LVP-XD211のみ)
  - 2 S-VIDEO IN端子(LVP-XD211のみ)
  - 3 MONITOR OUT端子(Mini D-SUB 15-pin)(LVP-XD211のみ)
  - 4 SERIAL(RS-232C)端子 ※2
  - 5 COMPUTER IN端子(Mini D-SUB 15-pin)
  - 6 VIDEO IN端子
  - 7 AUDIO IN端子(Mini jack)
- ※2 コンピュータで本機を制御するときに使用します。詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

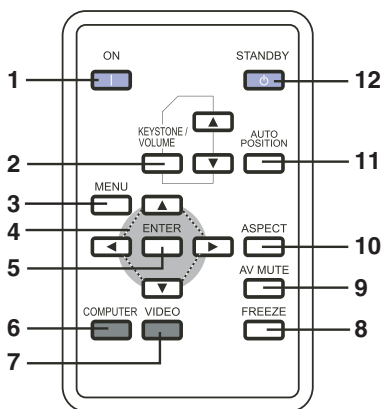


## 底面部



- 1 角度調整脚
- 2 ランプカバー

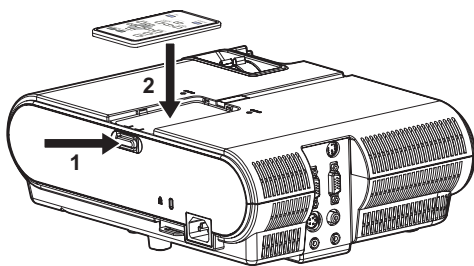
## リモコンのなまえ



- 1 ONボタン
- 2 KEYSTONE/VOLUMEUP, DOWNボタン  
(キーストーンの調整時にも使用します)
- 3 MENUボタン
- 4 方向ボタン  
(◀、▶ボタンはキーストーンの調整時や音量調節時にも使用します)
- 5 ENTERボタン
- 6 COMPUTERボタン
- 7 VIDEOボタン
- 8 FREEZEボタン
- 9 AV(Audio/Video) MUTEボタン
- 10 ASPECTボタン
- 11 AUTO POSITIONボタン
- 12 STANDBYボタン

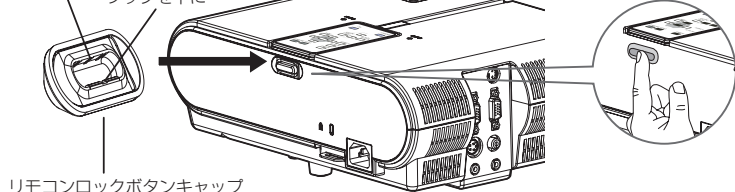
## リモコンについて

- 本機にはリモコンが2つあります。1つは本機上面部に取り付けられており、もう1つは付属品として同梱されています。
- 本機上面部に取り付けられているリモコンは、リモコンロックボタンを押すことにより取り外すことができます。(矢印1)
- リモコンを本機に取り付ける場合は、リモコンスロットに沿って挿入してください。(矢印2)
- リモコンご使用の前に透明絶縁テープを取り外してください。(2ページ参照)
- 本機にリモコンを取り付けたままご使用になる場合は、あやまってリモコンが外れないように、リモコンロックボタンキャップをリモコンロックボタンに取り付けておいてください。(イラスト参照)
- リモコンロックボタンキャップを取り付けたあとに、図の位置を押して、リモコンロックボタンキャップのフックが、リモコンロックボタンの底面切り欠き部に引っ掛かる様にしてください。(イラスト参照)



突起部を上

フックを下

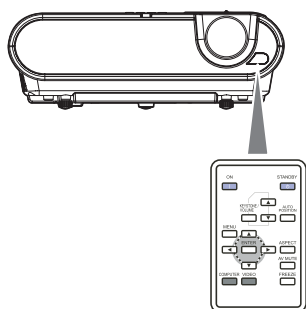


リモコンロックボタンキャップ

# リモコンの使いかた

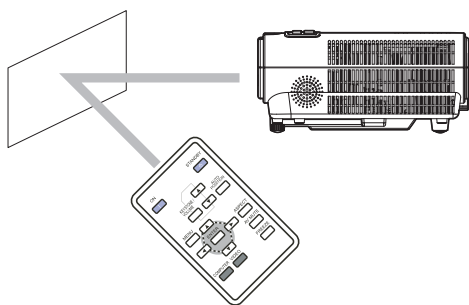
## ワイヤレスリモコンとして使う

本体前面



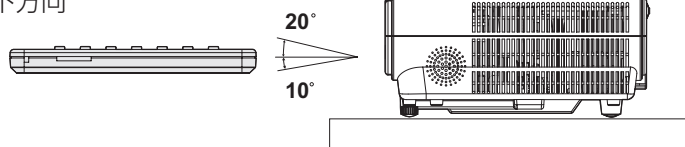
本体のリモコン受光部(前面)に向け、正面で約7m以内のところから操作します。

- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。

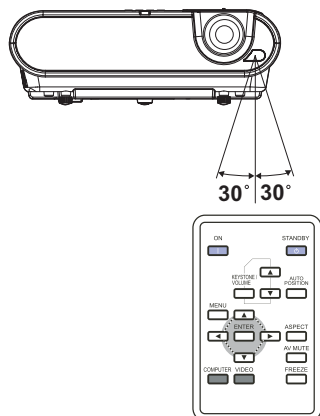


## 操作範囲

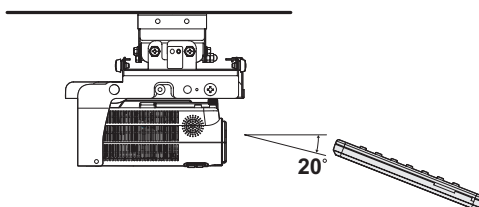
上下方向



左右方向



上下方向(天吊り時)



# コンピュータの映像を見る

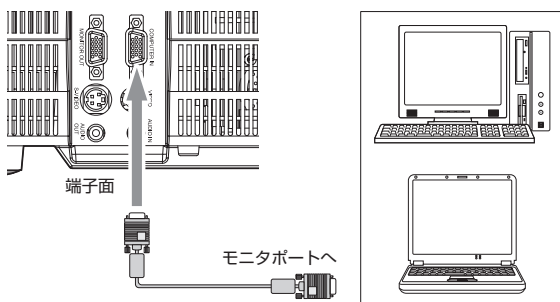
## A. コンピュータと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

### 準備

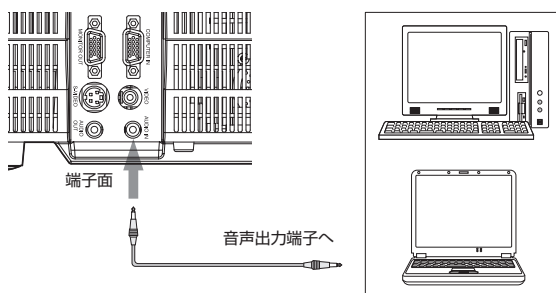
- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプの場合、モニタに接続されているRGB信号ケーブルをはずす

### アナログRGB(ミニD-Sub15ピン)端子付きコンピュータと接続する



- 1 付属のRGB信号ケーブルを本機のCOMPUTER IN端子に接続する
- 2 コンピュータのモニタポートにRGB信号ケーブルのもう一方を接続する
  - 接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。
  - 付属のRGB信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると正常に映像が映らないことがあります。

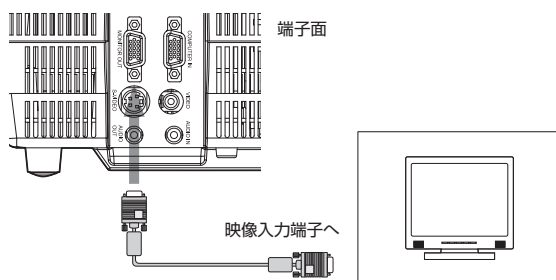
### コンピュータの音声をプロジェクターから出力する



- 1 PC音声ケーブル(市販)を本機のAUDIO IN端子に接続する
- 2 PC音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続する

- 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです(ただし、スピーカー出力はモノラルになります)。接続するコンピュータの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。
- オーディオケーブルがAUDIO OUT端子に接続されていると、音声はスピーカーから出力されません。

### プロジェクターの投写映像をモニタで見る(デスクトップのみ)※LVP-XD211のみ



- 1 モニタに接続されているRGB信号ケーブルを本機のMONITOR OUT端子に接続する
  - 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。
  - 入力信号によっては、接続されているモニタに正常に映像が映らないことがあります。接続されているモニタの取扱説明書をご確認ください。
  - COMPUTER IN端子に入力している信号が出力されます。

はじめに

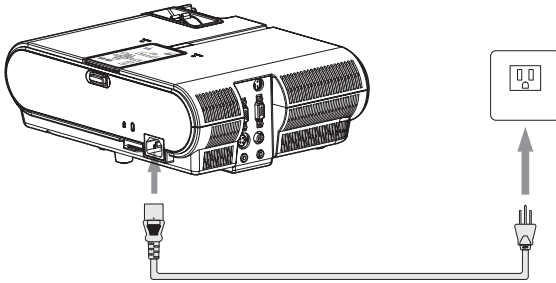
映像を見る

リコンピュータの映像を見る  
リモコンの使いかた

# コンピュータの映像を見る(つづき)

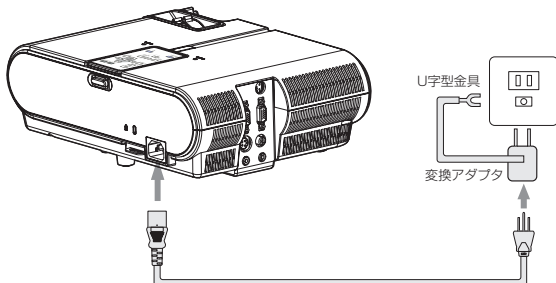
## B. 電源コードを差込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いている場合



- 1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
- 2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いていない場合



- 1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
- 2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプタを取り付ける
- 3 変換アダプタのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。

- 4 変換アダプタを電源コンセントに差し込む

- 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
- 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。

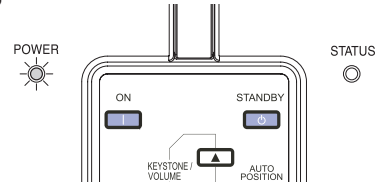
## C. 投写する

### 準備

- レンズキャップをはずす
- コンピュータの電源を入れる

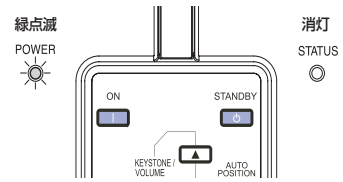
### 電源を入れる

- 1 POWERインジケータが緑色で点滅しているのを確認する

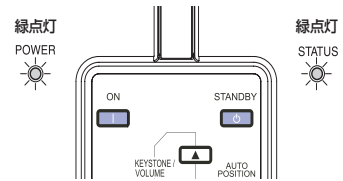


- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケータが緑色に点滅します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

- 2 リモコンのONボタンを押す



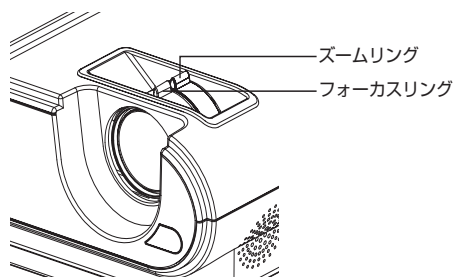
電源「切」の操作はできません。(約1分間)



- リモコンのONボタンを押すと、本機のウォーミングアップが始まります。ウォーミングアップ中は、表示されるイメージが暗く見えることがあります。また、ウォーミングアップ中は他の操作を行えません。
- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- リモコンのONボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切替はできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- POWERインジケータがオレンジ色に点灯して、STATUSインジケータが緑色に点灯しているときは、ランプ交換を行ってください。(27ページを参照してください。)
- 高温や低温の環境では、表示される画像品質が落ちる場合がありますが、故障ではありません。
- 停電や電圧低下などで電源が切れたときは、再び電源を入れてもランプが点灯しないときがあります。この様なときは、電気コードをコンセントから一度抜き、およそ10分後にもう一度電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れ直してください。

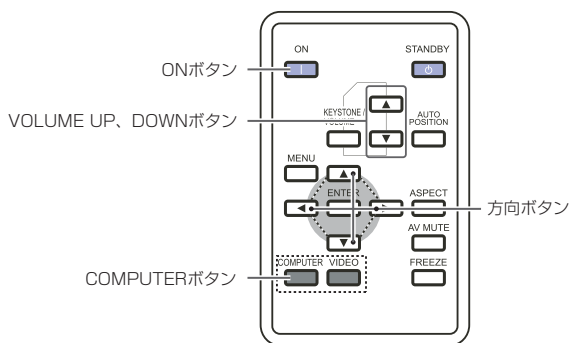
## ピントを調整する

- 3 フォーカスリングを回してピントを調整する



## 入力を切替える

- 4 リモコンのCOMPUTERボタンを押す



- ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは14ページをご覧ください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。

## 設置する

- 5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、右の表を目安にして設置してください。

- 6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(14ページ参照)。

- 7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

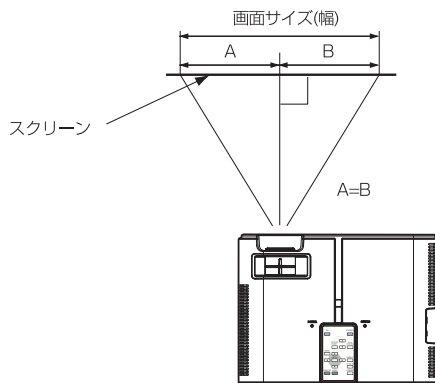
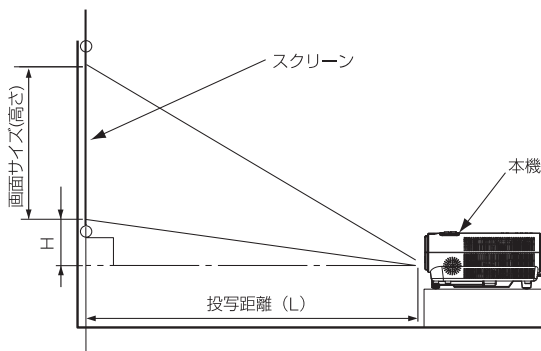
必要に応じて、操作3~7の設定は微調整してください。

- 設置する場所については、あらかじめ4~7ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。
- スクリーンに直接照明などがあたらないようにしてください。映像がぼやけて見えることがあります。
- 天吊りにするなどの設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは26ページをご覧ください。

| 画面サイズ<br>(形) | 画面サイズ |        | 投写距離:L※ |         | 高さ:H<br>(cm) |
|--------------|-------|--------|---------|---------|--------------|
|              | 幅(cm) | 高さ(cm) | 最短(m)   | 最長(m)   |              |
| 40           | 81    | 61     | 1.4/1.5 | 1.7/1.7 | 5            |
| 60           | 122   | 91     | 2.1/2.3 | 2.6/2.6 | 7            |
| 80           | 163   | 122    | 2.8/3.1 | 3.5/3.5 | 9            |
| 100          | 203   | 152    | 3.6/3.9 | 4.4/4.4 | 11           |
| 150          | 305   | 229    | 5.4/5.9 | 6.6/6.6 | 17           |
| 200          | 406   | 305    | 7.2/7.9 | 8.8/8.8 | 23           |
| 250          | 508   | 381    | 9.0/9.9 | 11.0/-  | 29           |
| 300          | 610   | 457    | 10.8/-  | -/-     | 34           |

※数値はLVP-XD211/LVP-SD210の値になります。

- 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。



### スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。  
スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。

# コンピュータの映像を見る(つづき)

## 音量を調整する

- 8 KEYSTONE/VOLUMEボタンを音量メニューが表示されるまで押し、▲ または▼ボタンを押して音量を調整する



- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

## 電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後30分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

- 9 リモコンのSTANDBYボタンを押す

「電源を切りますか?もう一度押してください」のメッセージが表示されます。

- この状態を解除するには、リモコンのSTANDBYボタン以外のボタンを押してください。ボタン操作なしでも10秒後にメッセージは消えます。

- 10 リモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケータが点滅します。

- 11 STATUSインジケータの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

- 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸/排気ファンによる冷却が必要です。
- STATUSインジケータが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用后すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

- 12 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケータが消灯します。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、コンピュータと接続しているケーブルを外します。

## ダイレクトパワーオフ

本機の電源を切ったあと、すぐに電源コードを抜くことができます。吸/排ファンが完全に動かなくなるまで待つ必要はありません。

ダイレクトパワーオフを行う場合は、次の3つの事がらに注意して行ってください。

- ランプ点灯後、STATUSインジケータの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れしないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。

## ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例  
「Fn」キー+「F1」～「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す。

## AUTO POSITIONボタンについて

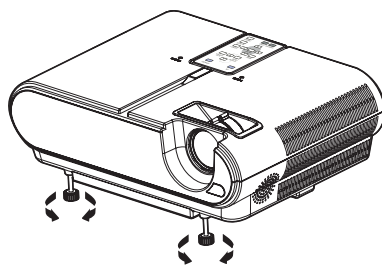
コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1. できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。
  2. スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
  3. AUTO POSITIONボタンを押す。  
入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。
- 数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、コンピュータ映像メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください(25ページ参照)。

## 角度調整脚で投写角度を調整する

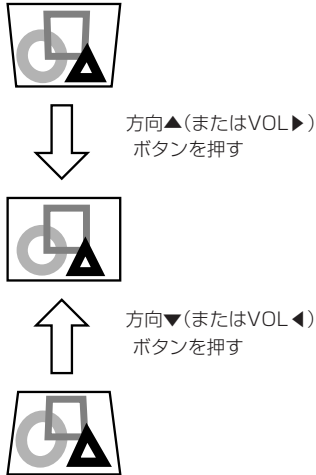
投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するか、または投写角度を以下のようにして調整してください。

- 1 本体の前部を投写させたい角度まで持ち上げる
  - 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(角度調整脚のみによる角度調整角は、最大6°になります)。
- 2 角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように調整する



## 画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が直角になっていないと画面が台形になります。本機、およびスクリーンを調整しても直角にならないときは、リモコンのKEYSTONE/VOLUMEボタンを押して「キーストーン」を表示させてから、リモコンのVOL▲または方向▶、VOL▼または方向◀ボタンを押して調整します。



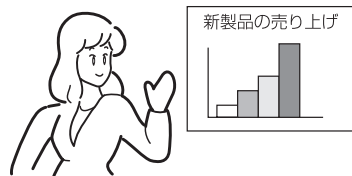
- キーストーンの調整時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 調整時に表示される調整値は、設置状態により調整範囲が異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、アスペクト比が4:3にならない場合があります。
- キーストーンの調整を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がり等の現象が見られますが、故障ではありません。
- ビデオ信号のタイプや、キーストーンの設定値によっては、画面がちらつくことがあります。この様なときは、画像がちらつかない様にキーストーン値を設定してください。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。

# プレゼンテーションを演出する

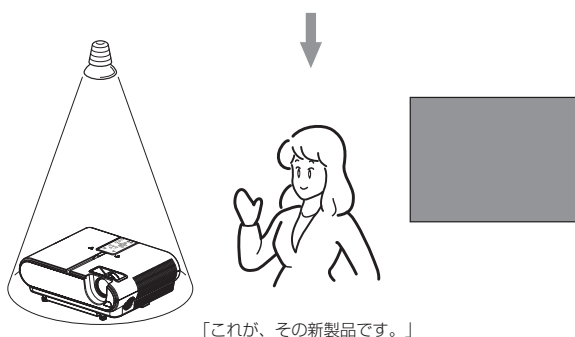
プレゼンテーションを行う上で、便利な使い方を紹介します。

## 映像と音声を一時的に消す(AVミュート)

スピーチやプレゼン映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



「新製品の売り上げは、このグラフの通りです。」



「これが、その新製品です。」

## 操作のしかた

- 1 リモコンのAV MUTEボタンを押す

映像が真っ暗になり、音声が消えます。

- もう一度AV MUTEボタンを押すと、通常画面にもどります。



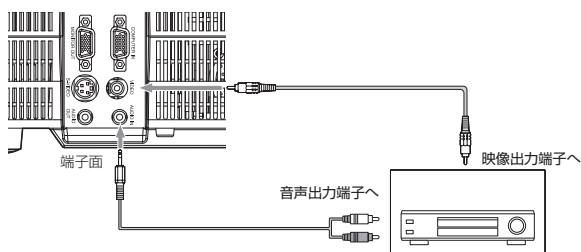
# ビデオ機器の映像を見る

## A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

### 準備

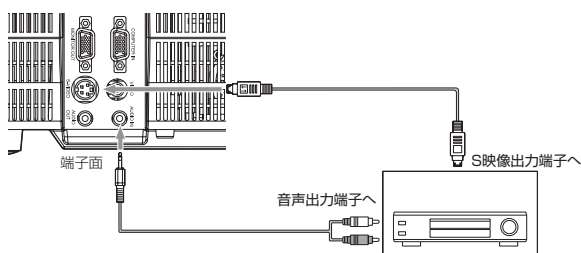
- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



- 1 本機のVIDEO端子に付属のビデオケーブルの黄色のプラグを接続する
  - 2 ビデオ機器の映像出力端子にビデオケーブルのもう一方の黄色のプラグを接続する
  - 3 本機のAUDIO IN端子に市販のオーディオケーブルのプラグを接続する
  - 4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルの白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する
- 内部スピーカーからの出力は、モノラルになります。

### S映像出力端子付きビデオ機器と接続する

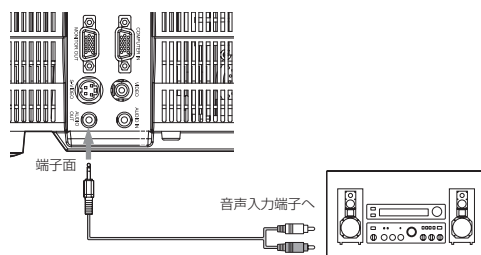
※LVP-XD211のみ



- 1 本機のS-VIDEO IN端子に市販のSビデオケーブルを接続する
  - 2 ビデオ機器のS映像出力端子にSビデオケーブルのもう一方を接続する
  - 3 本機のAUDIO IN端子に市販のオーディオケーブルのプラグを接続する
  - 4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルの白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する
- 内部スピーカーからの出力は、モノラルになります。

外部スピーカーからプロジェクターに接続している機器の音声を出すときは

※LVP-XD211のみ



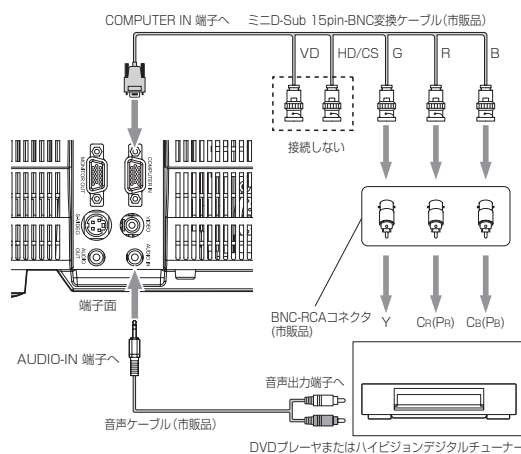
- 1 市販の音声ケーブルを本機のAUDIO OUT端子に接続する
- 2 外部スピーカーと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

### AUDIO OUT端子からの音声について

- AV MUTEボタンを押すと音声が消えます。
- KEYSTONE/VOLUME(▲または▼)ボタンを押すと音量が変わります。

### DVDプレーヤまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVDプレーヤ、またはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER IN端子に接続します。



- 接続はMini-D-Sub 15pin-BNC変換ケーブルを使用してください。DVDプレーヤとの接続にはBNC-RCAコネクタが必要となります。
- 接続機器によっては、端子の名称が異なる場合があります。
- オーディオ(音声)ケーブルは、ミニプラグのケーブルを使います。
- DVDプレーヤ、およびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R、G、B出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。

映像を見る

ビデオ機器の映像を見る  
プレゼンテーションを演出する

# ビデオ機器の映像を見る(つづき)

## B. 電源コードを差込む

「コンピュータの映像を見る」と同じです。12ページをご覧ください。

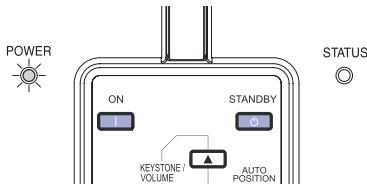
## C. 投写する

### 準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

### 電源を入れる

- 1 POWERインジケータが緑色で点滅しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケータが緑色に点滅します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

- 2 リモコンのONボタンを押す

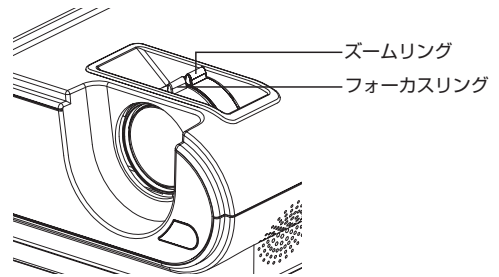


- リモコンのONボタンを押すと、本機のウォーミングアップが始まります。ウォーミングアップ中は、表示されるイメージが暗く見えることがあります。また、ウォーミングアップ中は他の操作を行えません。
- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- リモコンのONボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切替はできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- POWERインジケータがオレンジ色に点灯して、STATUSインジケータが緑色に点灯しているときは、ランプ交換を行ってください。(27ページを参照してください。)

- 高温や低温の環境では、表示される画像品質が落ちる場合がありますが、故障ではありません。
- 停電や電圧低下などで電源が切れたときは、再び電源を入れてもランプが点灯しないときがあります。この様なときは、電気コードをコンセントから一度抜き、およそ10分後にもう一度電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れ直してください。

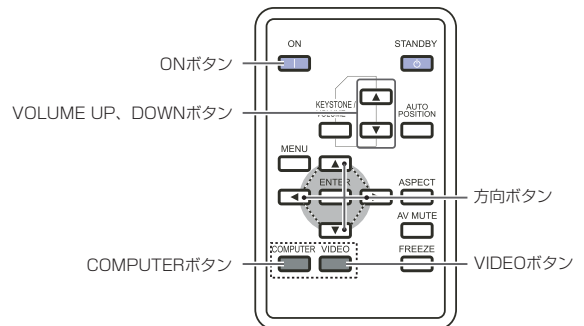
### ピントを調整する

- 3 フォーカスリングを回してピントを調整する



### 入力を切替える

- 4 リモコンのVIDEOボタンを押す



- 本体のVIDEOボタンを押すごとに「[VIDEO]」→「[S-VIDEO]」→「[VIDEO]」と切り替わります。(LVP-XD211のみ)
- COMPUTER IN 端子で接続しているDVDプレーヤやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、リモコンのCOMPUTERボタンを押します。

### 設置する

- 5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する
  - スクリーンから本機までの距離は、13ページの表を目安にして設置してください。
- 6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する
  - 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(13ページ参照)。
- 7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する  
必要に応じて、操作③～⑦の設定は微調整してください。

## 音量を調整する

- 8 KEYSTONE/VOLUMEボタンを音量メニューが表示されるまで押し、▲または▼ボタンを押して音量を調整する



- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

## 電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後30分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

- 9 リモコンのSTANDBYボタンを押す

「電源を切りますか?もう一度押してください」のメッセージが表示されます。

- この状態を解除するには、リモコンのSTANDBYボタン以外のボタンを押してください。ボタン操作なしでも10秒後にメッセージは消えます。

- 10 リモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

- 11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

- 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸/排気ファンによる冷却が必要です。
- STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

- 12 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケーターが消灯します。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、コンピュータと接続しているケーブルを外します。

## ダイレクトパワーオフ

本機の電源を切ったあと、すぐに電源コードを抜くことができます。吸/排ファンが完全に動かなくなるまで待つ必要はありません。

ダイレクトパワーオフを行う場合は、次の3つの事がらに注意して行ってください。

- ランプ点灯後、STATUSインジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れしないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。

## 静止画について

リモコンのFREEZEボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もう一度押すと通常画面にもどります。

- 音声は通常どおり聞こえます。
- 静止画中にFREEZEボタン以外のボタンを押しても通常画面にもどります(一部、もどらないボタンもあります)。
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

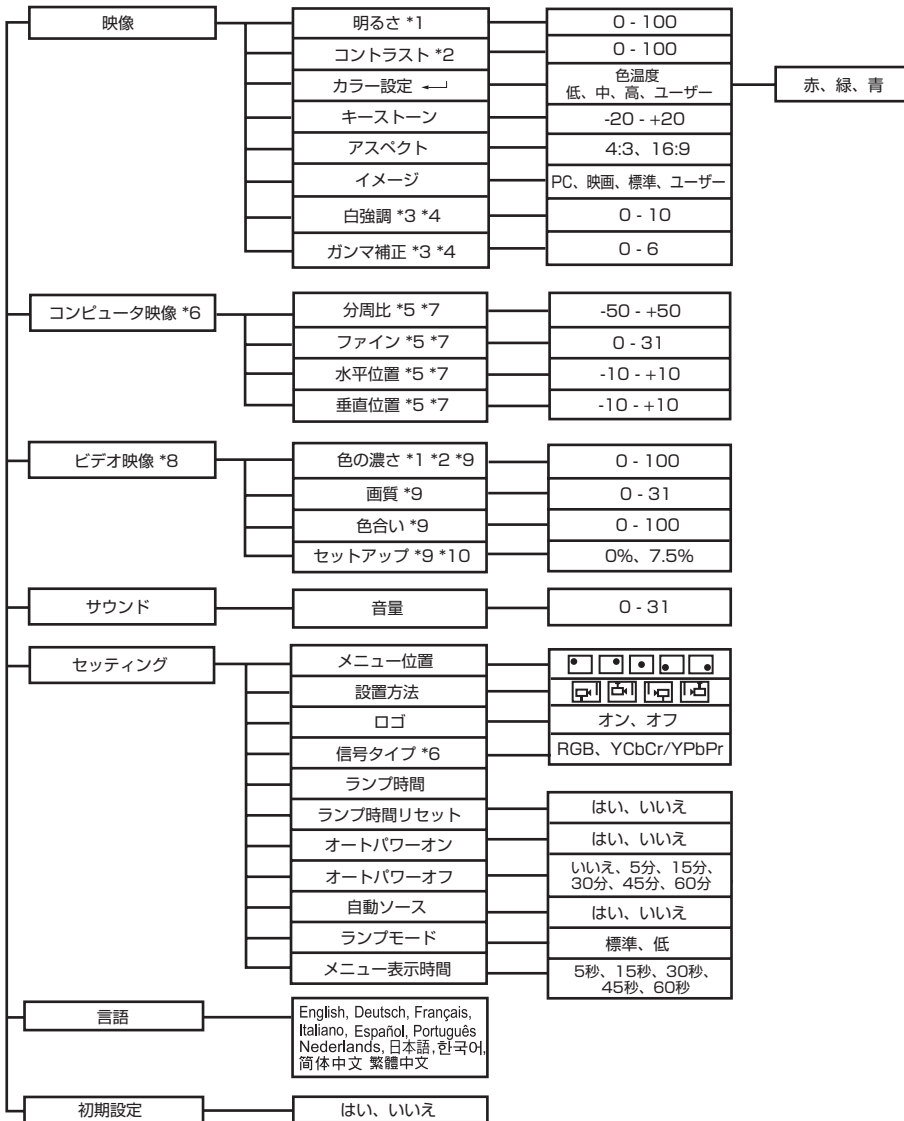
## ASPECTボタンについて

スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときにASPECTボタンを押すとアスペクト比が切り換わります。

- ASPECTボタンを押すごとに、「AUTO」→「16:9」→「FULL」→「AUTO」と切り換わります。
- オプションメニューの画角で16:9を選択すると、表示位置の選択ができます。
- 長時間16:9画面で使用されたあと、4:3表示で使用されると、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る場合があります。

# メニューを使って設定する

## メニュー遷移図



- \*1 信号の種類によって、初期設定が異なることがあります。
- \*2 COMPUTER IN、VIDEO IN端子からの入力信号、またはS-VIDEO 4/5線コンポーネント信号入力時のみ選択できます。
- \*3 設定値はイメージの設定によって変わります。
- \*4 設定を変えると、イメージの設定が「ユーザー」に変わります。
- \*5 信号の種類によって、選択範囲および初期設定が異なることがあります。
- \*6 VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。
- \*7 COMPUTER IN端子からの信号入力時のみ選択できます。
- \*8 COMPUTER IN端子からの信号入力時は選択できません。
- \*9 VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時(480i 480p)のみ選択できます。
- \*10 入力信号がNTSC時のみ選択できます。

### 重要

- メニュー表示時に信号が入力されていない場合、その後で信号を入力しても判別はされません。このような状態になったら、メニュー表示を消してください。
- メニュー表示を消した後も、設定値はそのまま保存されます。
- 信号が入力されていない状態でメニュー表示を消した場合、設定値は保存されません。

## メニュー設定のしかた

メニューを使用して、いくつかの設定を調整することができます。

- 映像メニュー、コンピュータ映像メニュー、およびビデオ映像メニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のみおこなえます。

### 1 MENUボタンを押す



### 2 ▲、▼ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ

### 3 ENTERボタン(または◀、▶ボタン)を押す



### 4 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

### 5 ◀、▶ボタンを押して設定値を調整する

## メニューを消すときは

### 6 MENUボタンを数回押す

- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- 選択した項目の横に が表示されたら、ENTERボタンを押してください。

## メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

### 映像メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

| 設定項目   | 設定                    | はたらき  |
|--------|-----------------------|---|
| 明るさ    | 0-100                 | 映像の明るさを調整します。   |
| コントラスト | 0-100                 | 映像のコントラストを調整します。  |
| カラー設定  |                       |   |
| 色温度    | 低、中、高、<br>ユーザー(赤、緑、青) | 映像の色温度を調整します。色温度を高くすると画面は冷たいように見え、色温度を低くすると画面に温かみがあるように見えます。ユーザーを選択したときは、映像の赤色、緑色、青色を、0-100の範囲で調整します。 |
| キーストーン | ±20                   | 映像の台形補正を行います。   |
| アスペクト  | 4:3                   | 投射される映像に合わせて、接続元の画像はこのアスペクト比で縮小/拡大されます。   |
|        | 16:9                  | 映像の幅に合わせて接続元の画像はこのアスペクト比で縮小/拡大されます。   |
| イメージ   | PC                    | コンピュータを使ったプレゼンテーションなどに適しています。(通常より強めの明るさになります。)   |
|        | 映画                    | ホームシアターなどに適しています。   |
|        | 標準                    | 通常のコンピュータ画面に適しています。   |
|        | ユーザー                  | 白強調とガンマ補正の設定を、好みの値に設定します。   |
| 白強調    | 0-10                  | 白色部分の明るさを調整します。(設定値を変更すると、イメージの設定がユーザーに変わります。)  |
| ガンマ補正  | 0-6                   | 暗めの映像の投射に効果を発揮します。ガンマ値が高い場合、暗めの映像が少し明るめになります。(設定値を変更すると、イメージの設定がユーザーに変わります。)                          |



- メニュー画面が表示されている最中にプロジェクターからケーブルを抜いてしまうと、最新の設定値は消去されてしまいます。

# メニューを使って設定する(つづき)

## コンピュータ映像メニュー ※外部信号が入力されていないと調整はできません。

本機はコンピュータから送られたビデオ信号のフォーマットを調整できます。しかし、お使いのコンピュータのタイプにより、正しく映像が投射されないことがあります。そのような場合には、AUTO POSITIONボタンを押してください。それでもまだコンピュータからの映像がきれいに表示されない場合には、コンピュータ映像メニューで調整してください。

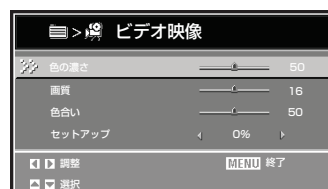
| 設定項目 | 設定   | はたらき                           |
|------|------|--------------------------------|
| 分周比  | ±50  | 映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。  |
| ファイン | 0-31 | 映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。 |
| 水平位置 | ±10  | 映像の表示位置を左右に動かします。              |
| 垂直位置 | ±10  | 映像の表示位置を上下に動かします。              |



- 拡大した投射映像に水平方向の線が現れることがありますが、故障ではありません。
- 水平位置または垂直位置を大幅に調整しなす場合、ノイズが発生する場合があります。
- 入力信号の種類によって、垂直位置の調整範囲が変わります。垂直位置の数値を変更した場合でも映像の位置に変化がない場合がありますが、故障ではありません。

## ビデオ映像メニュー ※外部信号が入力されていないと調整はできません。

| 設定項目   | 設定      | はたらき   |
|--------|---------|--|
| 色の濃さ   | 0-100   | 映像の色の濃さを調整します。                                 |
| 画質     | 0-31    | 映像の鮮鋭度を調整します。                                  |
| 色合い    | 0-100   | 映像の色合いを調整します。                                  |
| セットアップ | 0%、7.5% | 0%を選択すると、映像の暗めの部分が明るめになり、7.5%では暗めの部分がより濃くなります。 |



- メニュー画面が表示されている最中にプロジェクターからケーブルを抜いてしまうと、最新の設定値は消去されてしまいます。

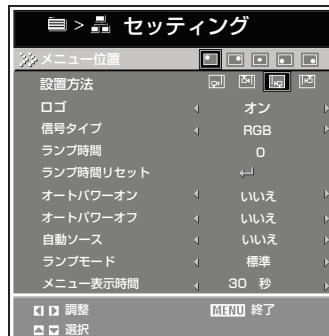
## サウンドメニュー

| 設定項目 | 設定   | はたらき      |
|------|------|-----------|
| 音量   | 0-31 | 音量を調整します。 |



## セッティングメニュー

| 設定項目      | 設定                   | はたらき  |
|-----------|----------------------|---|
| メニュー位置    | 5種類                  | メニューを表示する位置を選択します。  |
| 設置方法      | 4種類                  | プロジェクターの方向に合わせて映像を調整します。設定により、映像を左右、上下、上下左右といったように、反転させたり裏返したりします。  |
| ロゴ        | オン、オフ                | 電源を入れたときに、ロゴ画面を表示するかどうかを選択します。  |
| 信号タイプ     | RGB<br>YCbCr / YPbPr | VGA信号入力時に設定します。<br>コンポーネント、P信号入力時に設定します。  |
| ランプ時間     |                      | ランプの経過時間を時間単位で表示します。<br>・ランプモードが低に設定されている状態での経過時間を表示します。  |
| ランプ時間リセット | はい、いいえ               | ランプ時間を0時間に戻します。   |
| オートパワーオン  | はい、いいえ               | 通常は「いいえ」に設定します。<br>「はい」に設定すると、電源プラグをコンセントに接続したときに、自動的に電源が入ります。天吊りのときは「はい」を選択してください。<br>・ランプが消灯している場合、プロジェクターはスタンバイ状態です。リモコンを使って電源を入れてください。  |
| オートパワーオフ  | いいえ、5-60分            | 映像信号が未入力の子、設定した時間が経過すると、自動的にスタンバイ状態になります。   |
| 自動ソース     | はい、いいえ               | 入力信号を検索し、入力を自動的に切替えます。  |
| ランプモード    | 標準<br>低              | 通常はこれを選びます。<br>ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。<br>・この設定を変えると、画面が少しゆれることがあります。<br>・この設定をあまり頻繁に変更すると、ランプの性能が低下する場合があります。<br>・工場出荷時の設定は標準になっています。<br>・ランプを点灯したあと約1分経過するまでは、ランプモードの設定を変更しないでください。 |
| メニュー表示時間  | 5-60秒                | メニューの表示時間を設定します。  |



設定・調整する

メニューを使って設定する

## 言語メニュー

| 設定項目 | 設定   | はたらき                       |
|------|------|----------------------------|
| 言語   | 11言語 | メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。 |



## 初期設定メニュー

| 設定項目 | 設定     | はたらき                                  |
|------|--------|---------------------------------------|
| 初期設定 | はい、いいえ | メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします。(言語選択を除く。) |







## コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITIONボタンを押してください(14ページ参照)。それでも正しく投写されないときはメニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整します。また、設定した内容は自動的に記録されます。

### メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは以下の様に調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**  
コンピュータ映像メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**  
コンピュータ映像メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼける**  
コンピュータ映像メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**  
コンピュータ映像メニューの分周比を調整します。

### 簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

- 1 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。
- 2 操作1を繰り返し、水平位置の調整を行う。

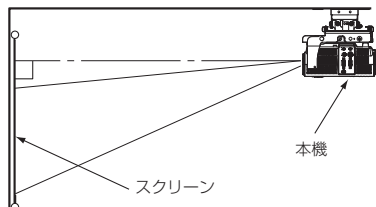
垂直位置の調整:


- 3 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

# 設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた

## 天吊りして正面から映像を見る場合

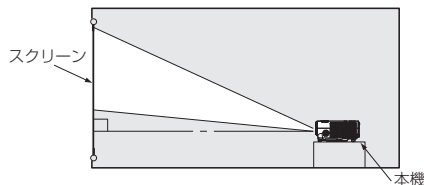
天吊りにする場合は別売の専用天吊り金具を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。




- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷等については保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置方法を「」にしてください。くわしくは23ページをご覧ください。
- プレーカなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずプレーカなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。
- 天吊り時は、リモコンが落下する可能性がありますので、リモコンを取りはずしてご使用ください。

## 半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 裏側から映像を見る場合、設置方法を「」にしてください。くわしくは23ページをご覧ください。

## お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶剤（ベンジン、シンナーなど）やスプレーを使用しないでください。

ランプ点灯の際、可燃成分に引火して火災や故障の原因になることがあります。

### 本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

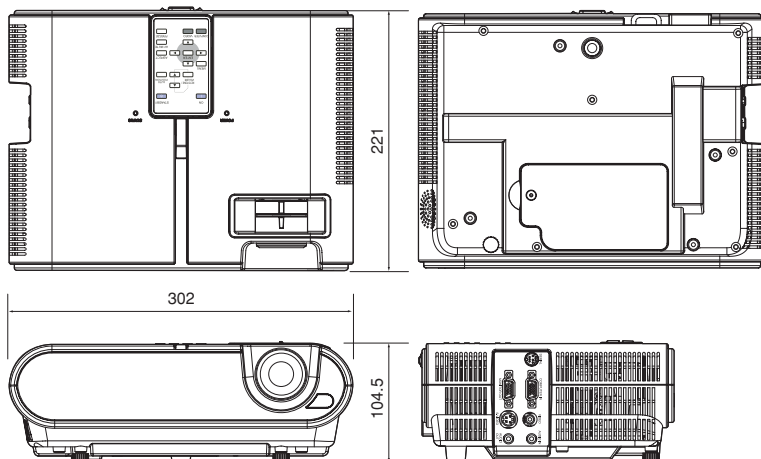
### レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品（ブローワーブラシなど）でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

## 寸法図(参考)

単位はmm



# 光源ランプを交換する

本機には、DMDの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。

本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプは、必ず別売の専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

## LVP-XD211/LVP-SD210用光源ランプ

形名:VLT-XD210LP

### 警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずには交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持っていきしないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがのおそれがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約90秒間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって十分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持っておこなってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

### 注意

光源ランプの使用時間が3000時間を越えた場合、光源ランプの交換をお知らせするメッセージが画面に表示されます。

ランプ使用時間は、ランプモードが「低」に設定した状態で加算されます(ランプモードが「標準」の場合、使用時間が2,000時間に達すると、「低」の3,000時間に相当するため、メッセージが表示されます)。

メッセージは、光源ランプが交換され、ランプ使用時間がリセットされるまで表示されます。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプは個体差や使用条件によって破裂や不点灯に至るまでの時間はそれぞれ

の高圧水銀ランプで大きな差があります。従って、使用開始後ももない場合でも破裂することがあります。

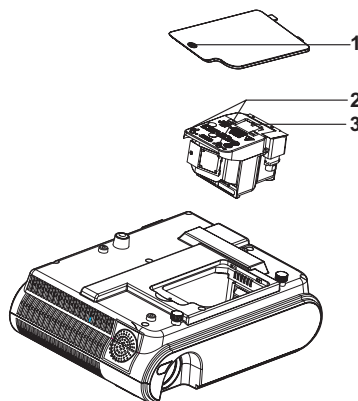
また、寿命が近づくと破裂する可能性が高くなります。

- 光源ランプの交換メッセージが表示された場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも新しい光源ランプに交換することをお勧めします。
- 高圧水銀ランプ破裂のとき、ランプBOX部内、外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用のVLT-XD210LPをご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

### ランプ交換のしかた

本機を天吊り状態などで設置している場合は、本機を高い位置から取り外し、作業しやすいように上下逆さまの状態で保護シートの上に置いてから、光源ランプを交換してください。

- 1 ランプカバーのネジを取りはずし、ランプカバーを取りはずす
- 2 ランプユニット固定用の2本のネジを取りはずす
- 3 取っ手を引き、そのままランプユニットを引き出す
- 4 新しいランプユニットをプロジェクターに挿入し、固定用のネジを締める
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締める



### ランプ使用時間をリセットする

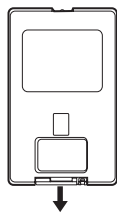
- 6 電源プラグをコンセントに接続して本機の電源を入れ、MENUボタン→「セッティング」→「ランプ時間リセット」→「はい」の順に操作して、ランプ使用時間をリセットする
- ランプカバーがきちんと閉まっていない場合、本機の電源を入れることはできません。
  - 光源ランプを交換したときは、必ずランプ使用時間をリセットしてください。
  - 光源ランプを交換していないときは、ランプ使用時間をリセットしないでください。

その他

光源ランプを交換する設置工事を依頼するときは、お掃除のしかた

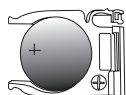
# リモコンの電池を交換する

- 1 バッテリーホルダーをリモコン本体から取りはずす

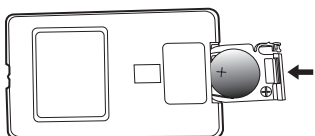


- 2 使用済みのボタン電池を取り出し、新しい電池 (CR2025)を入れる

- ボタン電池の(+), (-)マークを確かめて、必ず(+の面が上になるように電池を入れてください。



- 3 新しい電池が入ったバッテリーホルダーをリモコン本体に、カチッという音がするまで挿入する



## ⚠ 注意

- ボタン電池は、7ページに記載している「電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。

# 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

## 映像が映らない

| 現象                 | 確認/処置   |  |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
|--------------------|---|--|--------|----|---------|---------|---|----------|------------|--|-------------|----------|---------------------------------|----------|------------|---|------------|---------|---------------|------------|------------|--|
| 電源が入らない            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● インジケータの光りかたを確認する。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>POWER</th> <th>STATUS</th> <th>処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○<br/>消灯</td> <td>○<br/>消灯</td> <td>● 電源コードを本機に接続する。<br/>● 電源プラグをコンセントに接続する。</td> </tr> <tr> <td>☀<br/>緑点灯</td> <td>○ ☀<br/>緑点滅</td> <td>● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td> </tr> <tr> <td>☀<br/>オレンジ点灯</td> <td>☀<br/>緑点灯</td> <td>● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。)</td> </tr> <tr> <td>☀<br/>緑点灯</td> <td>○ ☀<br/>赤点滅</td> <td>● 本機内部が高温になっている状態。冷却及びスタンバイ状態が終わるまでお待ちください。</td> </tr> <tr> <td>○ ☀<br/>緑点滅</td> <td>○<br/>消灯</td> <td>● 数回電源ボタンを押す。</td> </tr> <tr> <td>○ ☀<br/>緑点滅</td> <td>○ ☀<br/>赤点滅</td> <td>● 冷却が終わるまで1時間以上たってから、再度電源を入れる。<br/>● 1時間以上後でも冷却が終わらない場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td> </tr> </tbody> </table> | POWER  | STATUS | 処置 | ○<br>消灯 | ○<br>消灯 | ● 電源コードを本機に接続する。<br>● 電源プラグをコンセントに接続する。 | ☀<br>緑点灯 | ○ ☀<br>緑点滅 | ● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。 | ☀<br>オレンジ点灯 | ☀<br>緑点灯 | ● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。) | ☀<br>緑点灯 | ○ ☀<br>赤点滅 | ● 本機内部が高温になっている状態。冷却及びスタンバイ状態が終わるまでお待ちください。 | ○ ☀<br>緑点滅 | ○<br>消灯 | ● 数回電源ボタンを押す。 | ○ ☀<br>緑点滅 | ○ ☀<br>赤点滅 | ● 冷却が終わるまで1時間以上たってから、再度電源を入れる。<br>● 1時間以上後でも冷却が終わらない場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。 |
| POWER              | STATUS  | 処置   |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| ○<br>消灯            | ○<br>消灯   | ● 電源コードを本機に接続する。<br>● 電源プラグをコンセントに接続する。  |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| ☀<br>緑点灯           | ○ ☀<br>緑点滅  | ● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。                                       |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| ☀<br>オレンジ点灯        | ☀<br>緑点灯  | ● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。)  |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| ☀<br>緑点灯           | ○ ☀<br>赤点滅  | ● 本機内部が高温になっている状態。冷却及びスタンバイ状態が終わるまでお待ちください。  |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| ○ ☀<br>緑点滅         | ○<br>消灯   | ● 数回電源ボタンを押す。  |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| ○ ☀<br>緑点滅         | ○ ☀<br>赤点滅  | ● 冷却が終わるまで1時間以上たってから、再度電源を入れる。<br>● 1時間以上後でも冷却が終わらない場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。 |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| 映像が映らない            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● AV MUTEボタンを押してAVミュートの設定をはずす。</li> <li>● レンズキャップをはずす。</li> <li>● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。</li> <li>● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。</li> <li>● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。</li> <li>● 吸気口が汚れていないか確認する。</li> <li>● ランプカバーが閉まっているか確認する(27ページ参照)。</li> <li>● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。</li> <li>● RGB接続時に、延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。</li> <li>● メニューが表示されているときに信号が未入力の場合、その後信号を再度入力しても判別はされません。このような状態になったら、メニューを消してください。</li> </ul>  |  |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| 電源が切れる             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。(このときSTATUSインジケータはオレンジ点滅しています)<br/>→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ。(POWERインジケータが緑に点灯するまで待つ)</li> <li>2. 電源プラグをコンセントから抜く。</li> <li>3. 約10分ほど待つ。</li> <li>4. 電源プラグをコンセントに接続する。</li> <li>5. 電源ボタンを押す。</li> </ol> </li> <li>● POWERインジケータがオレンジ色に点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。</li> <li>● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。</li> <li>● オートパワーオフが設定されていませんか。</li> </ul>  |  |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |
| 「入力信号がありません」が表示される | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。</li> <li>● 外部機器の信号が出力されているか確認する。(特にノートタイプのコンピュータの場合)</li> <li>● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。</li> <li>● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。</li> <li>● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。</li> <li>● RGB接続時に、延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。</li> </ul>  |  |        |    |         |         |   |          |            |  |             |          |                                 |          |            |   |            |         |               |            |            |  |

その他

故障かなと思ったら  
リモコンの電池を交換する

# 故障かなと思ったら(つづき)

## 映像がおかしい

| 現象                       | 確認/処置  |
|--------------------------|--|
| 映像がゆれる<br>画面位置がおかしい      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかいていないか確認する。</li> <li>● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。</li> <li>● AUTO POSITIONボタンを押す。</li> <li>● コンピュータの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるのでコンピュータ映像メニューで調整する(25ページ参照)。</li> </ul>                         |
| 映像がひずむ                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機と投写面が直角になるように調整する(13ページ参照)。</li> </ul>  |
| 映像が暗い                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画質メニューの明るさの調整をする(24ページ参照)。</li> <li>● ランプを交換する(27ページ参照)。</li> </ul>   |
| 映像がぼやける                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● フォーカスを合わせる。(13、18ページ参照)</li> <li>● レンズをきれいに拭く。</li> <li>● レンズキャップをはずす。</li> <li>● コンピュータ映像メニューで、分周比およびファインの調節をする(25ページ参照)。</li> <li>● 画質メニューの明るさおよびコントラストの調整をする(24ページ参照)。</li> <li>● 本機と投写面が直角になるように調整する(13ページ参照)。</li> </ul> |
| 画面が焼き付く<br>(残像がある)       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。(ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。)</li> </ul>  |
| 映像に光る点が見える<br>映像に黒い点が見える | <ul style="list-style-type: none"> <li>● DLPプロジェクター特有の現象です。故障ではありません。<br/>(一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99%以上は有効な画素数です。)</li> </ul>  |
| 映像に細かい縞模様<br>が見える        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。</li> <li>● ご使用になるDVDプレーヤ、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが見れる場合があります。</li> </ul>  |
| 映像(および音声)が<br>乱れる        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。</li> <li>● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。</li> <li>● 入力信号によっては、キーストーンの調整を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、キーストーンの調整量が少なくなるように再調整してご使用ください(15ページ参照)。</li> </ul>                               |
| 色合いがおかしい                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● セッティングメニューの信号タイプの設定が正しく設定されているか確認する(23ページ参照)。</li> <li>● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。</li> </ul>   |
| 色合いが異なる                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機を2台以上投写し比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。</li> <li>● テレビやパソコンのモニターなどと比較した場合、色再現範囲の違いなどにより色合いが異なることがありますが、故障ではありません。</li> </ul>  |
| コンピュータの動画部分<br>だけが表示できない | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータの問題です。コンピュータメーカーにお問い合わせください。</li> </ul>   |
| 映像がにじむ                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる(34ページ参照)。<br/>コンピュータの出力解像度の変更については、コンピュータメーカーにお問い合わせください。</li> <li>● キーストーンの調整を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。このような場合、キーストーンの調整を使用せずにお使いください(15ページ参照)。</li> </ul>                            |
| 映像がちらつく                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンのONボタンを押した後、または、ランプモードが切り替わった後、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。</li> <li>● 入力切り替え、Auto position、映像メニューのイメージ設定時等に一時的に映像がちらつくことがありますが、故障ではありません。</li> </ul>   |

## その他

| 現象                      | 確認/処置  |
|-------------------------|--|
| 排気口から温風が出る              | ● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じるがありますが故障ではありません。  |
| 外部音声出力が出ない              | ● 音量設定が小さくなっていないか確認する。   |
| メニュー設定ができない             | ● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。<br>→一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからも一度電源プラグをコンセントに接続する。   |
| 画面上に「温度異常!!」が表示(点滅)がされる | ● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。<br>→周辺温度が高くなる原因を取り除く。<br>● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。<br>→吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。 |
| リモコンが効かない・効きにくい         | ● 電池が消耗していないか確認する(28ページ参照)。<br>● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する(10ページ参照)。<br>● リモコンの操作範囲から外れてませんか(10ページ参照)。                               |
| 異音がる                    | ● カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がるがありますが故障ではありません。  |

ランプ交換のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

| 現象                                      | 確認/処置                      |
|---|----------------------------|
| 電源が入らない                                 | ● ランプ使用時間をリセットする(27ページ参照)。 |
| POWERインジケータがオレンジ色に、STATUSインジケータが緑色に点灯する | ● ランプ使用時間をリセットする(27ページ参照)。 |

# 索引

## ア行

|          |          |
|----------|----------|
| アスペクト    | 21       |
| 明るさ      | 21、24    |
| アフターサービス | 35       |
| イメージ     | 21       |
| 色合い      | 22、24    |
| 色温度      | 21、24    |
| 色の濃さ     | 22、24    |
| 映像メニュー   | 21       |
| オートパワーオフ | 23       |
| オートパワーオン | 23       |
| 音量       | 14、19、22 |

## カ行

|              |       |
|--------------|-------|
| 画質           | 22、24 |
| カラー設定        | 21    |
| ガンマ補正        | 21    |
| キーストーン       | 15、21 |
| 言語           | 23    |
| 言語メニュー       | 23    |
| コントラスト       | 21、24 |
| コンピュータ映像メニュー | 22    |
| コンピュータとの接続   | 11    |

## サ行

|                 |    |
|-----------------|----|
| サウンドメニュー        | 22 |
| 自動ソース           | 23 |
| 仕様              | 33 |
| 初期設定            | 23 |
| 初期設定メニュー        | 23 |
| 白強調             | 21 |
| 信号タイプ           | 23 |
| 垂直位置            | 22 |
| 水平位置            | 22 |
| 接続              |    |
| コンピュータ          | 11 |
| ビデオ機器           | 17 |
| ハイビジョンデジタルチューナー | 17 |
| DVD プレーヤ        | 17 |
| 接続できる信号の種類      | 34 |

|            |    |
|------------|----|
| 設置方法       | 23 |
| セッティングメニュー | 23 |
| セットアップ     | 22 |

## タ行

|            |       |
|------------|-------|
| ダイレクトパワーオフ | 14、19 |
| 投写角度の調整    | 14    |
| 投写距離       | 13    |

## ハ行

|                     |       |
|---------------------|-------|
| ハイビジョンデジタルチューナーとの接続 | 17    |
| ビデオ映像メニュー           | 22    |
| ビデオ機器との接続           | 17    |
| ピントの調整              | 13、18 |
| ファイン                | 22、25 |
| 付属品                 | 2     |
| 分周比                 | 22、25 |
| 別売品                 | 33    |

## マ行

|            |    |
|------------|----|
| メニュー位置     | 23 |
| メニュー設定のしかた | 21 |
| メニュー表示時間   | 23 |

## ラ行

|               |       |
|---------------|-------|
| ランプカバー        | 27    |
| ランプ時間         | 23、27 |
| ランプ時間リセット     | 23、27 |
| ランプの交換        | 27    |
| ランプモード        | 23    |
| リモコン受光部       | 10    |
| リモコンを初めて使うときは | 2     |
| ロゴ            | 23    |

## A

|                   |         |
|-------------------|---------|
| ASPECT ボタン        | 9、19    |
| AUTO POSITION ボタン | 9、14、25 |
| AV MUTE           | 16      |
| AV MUTE ボタン       | 9       |

## C

|                |         |
|----------------|---------|
| COMPUTER IN 端子 | 8、11、17 |
| COMPUTER ボタン   | 9、13、18 |

## D

|              |    |
|--------------|----|
| DVD プレーヤとの接続 | 17 |
|--------------|----|

## E

|           |      |
|-----------|------|
| ENTER ボタン | 9、21 |
|-----------|------|

## F

|            |      |
|------------|------|
| FREEZE ボタン | 9、19 |
|------------|------|

## K

|                     |                  |
|---------------------|------------------|
| KEYSTONE/VOLUME ボタン |                  |
| .....               | 9、13、14、15、18、19 |

## M

|                |      |
|----------------|------|
| MENU ボタン       | 9、21 |
| MONITOR OUT 端子 | 8、11 |

## P

|               |                |
|---------------|----------------|
| POWER インジケーター |                |
| .....         | 8、12、18、29、裏表紙 |

## S

|                |                |
|----------------|----------------|
| STATUS インジケーター |                |
| .....          | 8、14、19、29、裏表紙 |
| S-VIDEO IN 端子  | 8、17           |

## V

|             |      |
|-------------|------|
| VIDEO IN 端子 | 8、17 |
| VIDEO ボタン   | 9、18 |

## 端子について

### COMPUTER IN端子(ミニD-Sub 15ピン)

| PIN No. | 仕様            | PIN No. | 仕様        |
|---------|---------------|---------|-----------|
| 1       | R(RED)/Pr/Cr  | 9       | DDC 5V    |
| 2       | G(GREEN)/Y    | 10      | GND       |
| 3       | B(BLUE)/Pb/Cb | 11      | GND       |
| 4       | GND           | 12      | DDC Data  |
| 5       | GND           | 13      | HD/CS     |
| 6       | GND           | 14      | VD        |
| 7       | GND           | 15      | DDC Clock |
| 8       | GND           |         |           |

### MONITOR OUT端子(ミニD-Sub 15ピン)

| PIN No. | 仕様            | PIN No. | 仕様    |
|---------|---------------|---------|-------|
| 1       | R(RED)/Pr/Cr  | 9       | -     |
| 2       | G(GREEN)/Y    | 10      | GND   |
| 3       | B(BLUE)/Pb/Cb | 11      | -     |
| 4       | -             | 12      | -     |
| 5       | GND           | 13      | HD/CS |
| 6       | GND           | 14      | VD    |
| 7       | GND           | 15      | -     |
| 8       | GND           |         |       |

### SERIAL(RS232C) 端子(ミニDIN 8ピン)

| PIN No. | 名称  | I/O |
|---------|-----|-----|
| 1       | TXD | 入力  |
| 2       | -   | -   |
| 3       | -   | -   |
| 4       | GND | -   |
| 5       | -   | -   |
| 6       | -   | -   |
| 7       | RXD | 出力  |
| 8       | -   | -   |

※ コンピュータで本機を制御するときに使用します。  
シリアルケーブルはクロスタイプのものでご使用  
ください。  
くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンター  
にご相談ください。



# 仕様

(仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。)

|             |  |   |   |
|-------------|--|---|---|
| 形式          | LVP-XD211                                      |   | LVP-SD210   |
| 表示方式        | DLP® (単板DLP®チップ)                               |   |   |
| 光学方式        | 時分割色分離・合成方式                                    |   |   |
| 表示素子        | サイズ  | 0.55形×1(枚)、アスペクト比4:3  |   |
|             | 画素数  | 786,432画素(1024×768)×1枚  | 480,000画素(800×600)×1枚   |
| 投写レンズ       | 焦点距離   | f=19.9~23.9mm   | f=22.0~24.2mm   |
|             | F値   | F2.5~2.7  |   |
| 光源          | 高圧水銀ランプ 180W                                   |   |   |
| 画面サイズ(投写距離) | 40形~300形(ワイド端のみ)、<br>1.4~10.8m                 | 30形~250形(ワイド端のみ)、<br>1.2~9.9m   |   |
| 再現色数        | 1,677万色(フルカラー)                                 |   |   |
| 音声出力        | 2W、モノラル  |   |   |
| スピーカ        | 口径φ4.5cm、個数1                                   |   |   |
| 表示可能解像度     | コンピュータ信号入力時                                    | 最大入力解像度   | 1280×1024ドット(圧縮表示)  |
|             |  | パネル解像度  | 1024×768ドット   |
|             | ビデオ信号入力時                                       | 表示可能信号: NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60<br>NTSC水平解像度: 600TV本(S端子入力時) |   |
| コンピュータ入出力   | コンピュータ入力                                       | 映像入力  | ミニD-Sub15ピン(RGBまたはY/Pb/PrまたはY/Cb/Cr信号対応)、1系統<br>・ RGB: 0.7Vp-p 75Ω/1.0Vp-p 75Ω(同期負極性)<br>・ Y: 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性)<br>・ PbPr/CbCr: 0.7Vp-p 75Ω<br>・ HD/CS: TTLレベル(負または正極性)<br>・ VD: TTLレベル(負または正極性) |
|             |  | 音声入力  | φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(ビデオ入力と共有)<br>・ 350mVrms 10kΩ以上   |
|             | コンピュータ出力                                       | 映像出力  | ミニD-Sub15ピン(RGB/YBPPr/YCBCR出力)、1系統<br>・ コンピュータ入力と同一の信号形式で出力   |
|             |  | 音声出力  | φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(ビデオ出力と共有)  |
| ビデオ入出力      | ビデオ入力  | 映像入力  | RCA端子、1系統<br>・ 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性)   |
|             |  |   | S端子、1系統<br>・ Y: 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性)<br>・ C: 0.286Vp-p 75Ω(バースト信号)  |
|             |  | 音声入力  | φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(コンピュータ入力と共有)<br>・ 350mVrms 10kΩ以上  |
|             | ビデオ出力  | 音声出力  | φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(コンピュータ出力と共有)   |
| 制御入出力       | SERIAL(RS232C)端子(ミニDIN 8ピン): 1系統(プロジェクター本体制御用) |   |   |
| 使用温度(使用湿度)  | 使用温度範囲: 5~35℃(使用湿度範囲: 30~90%)                  |   |   |
| 電源          | AC100V、50/60Hz                                 |   |   |
| 消費電力        | 2.5A 250W                                      |   |   |
| 外形寸法        | W(幅)302mm×H(高さ)104.5mm×D(奥行き)221mm             |   |   |
| 質量          | 2.6kg  |   |   |

## 「JIS C 61000-3-2 適合品」

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部: 限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

## 別売品

|       |   |
|-------|---|
| スクリーン | 形名 SCR-A50P<br>形名 SCR-A60P<br>形名 SCR-A80P |
| 光源ランプ | 形名 VLT-XD210LP                            |

その他

索引様

# 仕様(つづき)

## 接続できる信号の種類

| 信号表示                 | 解像度<br>(H × V) | 水平周波数<br>(kHz) | 垂直周波数<br>(Hz) | LVP-XD211解像度<br>(H × V) | LVP-SD210解像度<br>(H × V) |
|----------------------|----------------|----------------|---------------|-------------------------|-------------------------|
| NTSC (60), 480i (60) | -              | 15.73          | 59.94         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
| PAL (50), 576i (50)  | -              | 15.63          | 50.00         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
| 1080i (60)           | -              | 33.75          | 60.00         | 1024 x 576              | 800 x 450               |
| 1080i (50)           | -              | 28.13          | 50.00         | 1024 x 576              | 800 x 450               |
| 480p (60)            | -              | 31.47          | 59.94         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
| 576p (50)            | -              | 31.25          | 50.00         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
| 720p (60)            | -              | 45.00          | 60.00         | 1024 x 576              | 800 x 450               |
| 720p (50)            | -              | 37.50          | 50.00         | 1024 x 576              | 800 x 450               |
| VGA                  | 640 x 400      | 24.82          | 56.42         | 1024 x 640              | 800 x 500               |
|                      |                | 37.86          | 84.13         | 1024 x 640              | 800 x 500               |
|                      |                | 37.86          | 85.08         | 1024 x 640              | 800 x 500               |
|                      | 640 x 480      | 31.47          | 59.94         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 37.86          | 72.81         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 37.50          | 75.00         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
| SVGA                 | 800 x 600      | 43.27          | 85.01         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 35.16          | 56.25         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 37.88          | 60.32         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 48.08          | 72.19         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 46.88          | 75.00         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
| XGA                  | 1024 x 768     | 53.67          | 85.06         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 48.36          | 60.00         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 56.48          | 70.07         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 60.02          | 75.03         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 62.94          | 74.92         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
| SXGA                 | 1152 x 864     | 68.68          | 85.00         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 63.85          | 70.01         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      | 1152 x 900     | 67.50          | 75.00         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      |                | 61.85          | 66.00         | 984 x 768               | 768 x 600               |
|                      |                | 71.81          | 76.84         | 984 x 768               | 768 x 600               |
| 1280 x 960           | 60.00          | 60.00          | 1024 x 768    | 800 x 600               |                         |
| 1280 x 1024          | 63.98          | 60.02          | 960 x 768     | 750 x 600               |                         |
| MAC                  | 640 x 480      | 35.00          | 66.67         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      | 832 x 624      | 49.72          | 74.55         | 1024 x 768              | 800 x 600               |
|                      | 1024 x 768     | 60.24          | 75.02         | 1016 x 768              | 800 x 600               |

- 一部のコンピューターには対応していない場合があります。
- 最大解像度は、LVP-XD211が1024×768ドットで、LVP-SD210が800×600ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G対応の信号は、映像が緑っぽくなる場合があります。
- SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れる場合があります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは接続するコンピューターの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは、セッティングメニューの信号タイプの設定をRGBにしてください。
- ビデオ信号の5線(R, G, B, H, V)および4線(R, G, B, CS)出力機器について、本機は対応していません。
- 解像度のうち、640 x 480 (72 Hz)および640 x 480 (75 Hz)は、SYNC ON G対応の信号および複合同期信号の画像には対応していません。
- MONITOR OUT端子は、SYNC ON G対応の信号には対応していません。(LVP-XD211のみ)

# 保証とアフターサービス

## ■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間  
お買上げ日から1年間です  
但し、光源ランプは1年以内で500時間まで

## ■補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、データプロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 光源ランプなどの消耗部品の他に、DMD、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間(毎日6時間以上)で使用されると、1年未満であっても修理・交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンター(ホームシアターの場合は、お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」)にご相談ください。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

- 三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

- ◎ 「故障かなと思ったら」の手順にしたがって、お調べください。
- なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- ◎ 保証期間中は  
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。
- ◎ 保証期間が過ぎているときは  
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

- ◎ 修理料金は  
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

## ◎ ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱データプロジェクター
2. 形名 LVP-XD211/LVP-SD210
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

三菱電機  
テクニカルサポートセンターのご案内

## テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは  
全国どこからでもおかけいただける  
三菱電機テクニカルサポートセンター

**0120-32-7440** (無料)

Tel: 075-353-0654

(携帯電話、PHSでお問い合わせの場合)

■受付時間 平日・土日・祝日(弊社指定休日除く)  
午前 9:00~12:00/午後 1:00~9:00

**FAX** 075-353-0685

**E-mail** pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する詳細情報や応用例などを、WWWサイトでもご提供しています。  
[www.mitsubishielectric.co.jp/projector/business](http://www.mitsubishielectric.co.jp/projector/business)

## ■購入、買替えのご相談はこちらへ。

購入・買替え  
相談窓口 **三菱電機株式会社(本社窓口)**  
**TEL:03-3218-6107** (有料)

受付時間 平日 午前9:00~12:00/午後1:00~5:30(土日・祝日・弊社指定休日除く)

- 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

## ■お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。  
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。  
②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせいただきました窓口にご連絡ください。

その他

保証とアフターサービス  
仕様

# インジケータの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケータが2つあります。インジケータの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

## 正常時

| POWER    | STATUS   | 状態                             | 処置 |
|----------|----------|--------------------------------|----|
| ○ 緑点滅    | ○ 消灯     | 電源スタンバイ中                       |    |
| ● 緑点灯    | ● 緑点灯    | 電源「入」(通常時)                     |    |
| ● オレンジ点灯 | ● オレンジ点灯 | プロジェクターの電源が切れる前にファンが冷却をしている状態。 |    |

## 異常時

| POWER    | STATUS | 状態  | 処置   |
|----------|--------|---|--|
| ● 緑点灯    | ○ 緑点滅  | ファン異常のためプロジェクターの操作を始められない状態。              | 三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。   |
| ● オレンジ点灯 | ● 緑点灯  | 光源ランプが寿命に達し、早急に交換が必要な状態。                  | 光源ランプを交換し、使用時間をリセットしてください。   |
| ● 緑点灯    | ○ 赤点滅  | 本機内部が高温になっている状態。光源ランプが消灯し、ファンがランプの冷却を始める。 | 冷却およびスタンバイ状態が終わるまでお待ちください。   |
| ● オレンジ点灯 | ○ 消灯   | 光源ランプが正常に点灯されない状態。                        | 光源ランプを交換し、使用時間をリセットしてください。   |
| ○ 緑点滅    | ○ 赤点滅  | 本機内部が高温になっている状態、またはスタンバイ中における温度センサーのエラー。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>冷却が終わるまで1時間以上たってから、再度電源を入れてください。</li> <li>1時間以上後でも冷却が終わらない場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</li> </ul> |

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役に立ちます。

購入年月日

購入店名(住所)

電話番号

このデータプロジェクターの形名は、LVP-XD211/LVP-SD210です。

## 愛情点検

● 長年ご使用の場合は点検をぜひ /

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような  
症状は  
ありませんか

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源スイッチを入れても映像がでない。
- 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用  
中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

データプロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。